

農村伝道神学校学報

学校法人鶴川学院
農村伝道神学校
発行人：ロバート・
ウィットマー

安全保障関連法廃止！

辺野古新基地建設反対！

「共に歩まれる主イエス」

ルカ福音書 24 章 13 ～ 35 節

日下部遣志 川内教会牧師 九州教区総会議長



農村伝道神学校を卒業される方々、おめでとうございませう。私は二五年前に神学校を卒業しました。その約二ヶ月前の一九九五年一月一七日、阪神大震災が起こり、私は震度七のただ中で被災しました。住居のマンションは半壊で、四月中旬まで水とガスは復旧しませんでした。そんな非日常の中で教師検定試験を受け、被災地にある教会の伝道師としてスタートしました。地震によって附属幼稚園の在園児や卒園児、その保護者な

ど含め、関係者約二〇名の方が亡くなられました。主任牧師と共に犠牲となった方々の写真パネルを作ったことは忘れることができません。それまでの日常が一瞬にして奪われた不条理を思うと共に、亡くなった方々のことを生き残った私達が語り継いでいかなければならないことを強く思わされたのです。ある時、アニーさんという女性シンガーが被災地を訪れ、「阪神大震災」という自作の歌を披露しました。その最後の一節は「We are alive to tell the story（我々は物語を伝えるために生きています）」という歌詞でした。多くの命を失ったけれども、今私達は生きています。何のために生きるのか。それは失った多くの命を忘れることなく語り伝えていくために私達は生

きていく。そんなメッセージとして受け止めたのです。

聖書は数千年にわたる神と民の歴史を伝えてくれます。私達はその歴史のほんの一時を生きているに過ぎません。この日本での教会の歴史も長くて一四〇年ほどです。その中で神の言葉が語られ、それを信じて生きた多くの信者たちがいました。そこに沢山の物語が生まれました。一人一人に固有の物語があり、一つの教会に固有の物語が生まれてきた。牧師として歩もうとする時に大切なことは、その固有の物語に聞き、受け継いでいくことです。

三年後、主任牧師として赴任した先は、筑豊と呼ばれる旧産炭地にある教会でした。その地域、教会も多くの痛みを負います。二〇世紀初頭、大財閥による開坑とほぼ同時に教会が設立されます。戦後、炭鉱最盛期には約一〇〇人の礼拝出席者がいました。が、エネルギー革命による相

次ぐ閉山で、地域からも教会からも人が次々に去って行くのです。筑豊の歴史を学ぶ中で、上野英信という作家のことを知りました。彼は過酷な労働下にある炭鉱夫から聞き取りを行い、その惨状や歴史、また彼らが地の底で経験した様々な笑い話を本にします。

その彼がこんな言葉を残します。「筑豊よ、日本を根底から変革する、エネルギーのるつぼであれ、火床であれ」。筑豊は石炭を掘り尽くして捨てられたものではありません。まだ半分以上の石炭が地下に埋蔵されているそうです。石炭は見た目は黒いですが、一度発火すると煌々と燃え続けます。石炭が戦後日本の復興を支えたように、再び日本を変えていくエネルギーとなれ、というのです。

私たちの奥底にも、一度発火すると煌々と燃え続けるような火種があるはず。地方の教会は高齢者が多いのですが、若い時にイエスに出会った救われたそれぞれ固有の物語が秘められています。その物語に耳を傾け、奥底に眠る火種に火を灯すことが牧師としての大切な働きなのです。

伝道だと牧師一人でかつかとも熱くなるのではなく、色んな人の奥底に秘められた火種に

火を灯す働きを続けることで、多くの火種が発火し、神の業が広がっていくのです。

二人の弟子が、失意の中でエマオへ歩いて行きます。そこに復活のイエスが現れ共に歩むのです。先回りでもありません。絶望し下を向いて歩く二人に、イエス自身が近づかれ、歩調を合わせて確かに歩まれました。ここに希望と救いがあります。私たちも時に希望を失い、下を向くしかない時があります。そんな時、イエス自身が歩み寄り共に歩んで下さる。二人の弟子のように、その時はすぐにイエスと分かりませんが、確かに共に歩んで下さっていたのです。エマオへの失意の道は、いつしかイエスとの出会いの道となるのです。イエスと分かたれた時、二人は「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と振り返ります。イエスが共に歩まれた時、二人の心は再び燃え始めたのです。消えていた火種に希望の火が灯ったのです。

それぞれに秘められた固有の物語。それは神が豊かな恵みを注いで関わられた神の物語でもあります。私たちはそ

んな神の物語を語り継いでいくのです。何と恵まれた働きなのでしょうか。学んだ神学や知識を教えてあげるなどということではなく、地域の物語、教会の物語、教会の方々それぞれの物語に耳を傾け、そこに示される神の恵みを分かち合っていくのです。私たちはそんな神の豊かな物語に耳を傾け、それを物語る働きに召されているのです。二人の弟子がそうであったように、どのような困難な時にも主イエス自ら歩み寄り共に歩んで下さる。その希望をいつも心に灯しながら。

農村伝道神学校卒業礼拝
三月四日

新任教師紹介



石井智恵美

二〇二〇年四月より兼任教師として着任しました石井智恵美です。二〇一二年度より非常勤講師として「霊性とキリスト教倫理」を担当してきました。この科目を継続して担当しながら、他の教務にもあたる予定です。しかし、新

型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式は中止となり、授業も一か月延期となりました。すべてが未知の事態で、農伝の教師会自身が非常事態の中で無我夢中で歩み始めています。私自身も新任教師としてまだ、自分の立ち位置がつかめないままに、新学期が始まってしまい、戸惑いの中にある、というのが正直なところではあります。農村伝道神学校がこれまで大切にしてきた「農」の視点、「戦争責任告白」の視点、「解放」の視点を大切にしながら、「霊性」の養いの課題を学生たちと共に担って行けたらと思っています。

少し自己紹介をすれば、子どものころから通っていたパプテストの教会で一七歳の時に受洗。ルーテル神学大学の社会福祉科に入学しましたが、神学が面白くなり、神学科へ転科しました。大学時代は学生YMCAの活動に夢中になり、そこで出会った関田寛雄先生の教会・川崎戸手伝道所に通い始め、教団に転会しました。その後、同志社大学神学部大学院へ。

えられました。一〇年間富坂に勤めた後、ドイツに再留学。約六年半、ミュンヘン大学神学部博士課程で学びました。帰国後は、教団まぶね教会の主任担任牧師を勤め、その傍ら立教大学や農伝の非常勤講師を務めました。学生生活が長かったので、質素な生活をしながら探求を続ける学生の自由さと不安定さの両方を理解しているつもりです。それでも、教会という現場に出ればまとまって勉強する時間はほとんどありませんから、学生の皆さんには今、この時を活かして、存分に学びと研鑽を深めてほしいと願っています。学生たちの良き同伴者になれたらと願っています。

(二〇二〇・五・二七)

新任講師紹介



川浦 弥生

東京都世田谷区で生まれ育ち、一九八四年から二〇一四年までの三〇年間を沖縄で過

ごしました。二〇〇五〇代という人生の朱夏、子どもを産み育て、友を得て、臨床心理士・公認心理士として大学、保健所、自治体、保育園、小中高校、病院で働きました。洗礼は佐敷教会で平良修牧師から授かり、うふざと伝道所と宮古島伝道所で書記として用いていただきました。人間にとって大切なことは、すべて、いつも沖縄の人たちから教えられました。二〇一八年に農伝を卒業後、神奈川教区の林間つきみ野教会で宣教に携わりながら、公立学校で働いています。

昨年、娘を一人、主の下へ送りました。悲しみを癒そうとは思いません。悲しみを抱えたまま、最期まで独りで歩くしかないと感じています。私の悲しみと「イエスさまが一緒」かどうか、私にはわからなくなりましたが、答えは急がないで最期まで取っておきましょう。座禅黙想を続けながら、「時間」や「世界」や「私とあなた」についてゆっくり吟味しつつ、神さまのささやきを聴きとりたく願っています。教会には様々な痛みを抱えている人が集まっています。なによりも日常生活を大切にしながら、喜びを分かち合いたいと願っています。空論ではなく、喜怒哀楽や食

べること、憩うこと、語ることといった生きるリアリティを、学生、聴講生と一緒に心と体に刻みたいと思います。好きなことは、花の手入れ、料理（下手ですが）、石けん作り、辻井伸行と小澤征爾の音楽、ドロー・ゼレ、ドイツ、北欧デザイン、空のすべて（蒼穹、雲、虹、雨、星、月、光、あの娘がいるところ）。



酒井 薫

今年四（六）月から『説教学』を担当することになりました。酒井薫と申します。現在東駒形教会の牧師で、赴任して六年目、牧会の現場に出て三九年目になります。この世界で生活して、結果として与えられた座右の銘は「時が人を創る」「経験が人を育てる」「出会いが人を創り育てる」です。

私は一九五四年に宮城県仙台市で誕生したので、今年六六歳になります。当時、父がクリスチャンで、二人の姉たちが私の前任地の宮城学院中高の時代に洗礼を受け、母も洗礼を受け毎朝家庭礼拝を

してからの食卓でありました。私はクリスチャンになることは全く考えていない中高生時代でした。

しかし、様々なことがあり、二一歳の時イースター礼拝で母教会の仙台北三番丁教会にて洗礼を受けました。当時、在籍していた東北学院大学Ⅱ部（夜学）経済学部から、昼の文学部キリスト教学科三年生へ編入学し、何とか三年間かかって卒業しました。その後、東神大の院に入学したもの、修士論文が書けずに一九八一年三月に大学院終了（単位取得の上、退学）となり、初任地へ赴任いたしました。

初任地は一九八一年四月（八四年三月（三年間））山形県の米沢中央教会・共愛幼稚園園長、二六歳の時でした。なんとここでは毎週、六回の礼拝がありました。主日礼拝、CS礼拝、園児、祈禱会聖研、保護者会聖研、英語教室礼拝。聖書テキストを選ぶだけでも大変だったことを記憶しています。二個目の任地が所沢みくに教会。三個目の任地が山形学院高校宗教主任。四個目の任地が仙台北三番丁教会。五個目の任地が宮城学院中高宗教主事でした。そして、今、六個目の任地です。この東駒形教会は、本所賀川記念館（五階建て）の中にあり、

創立九七周年（関東大震災から）です。



杉山 弘

初めまして、杉山弘です。今年度から、日本近現代史を担当することになりました。よろしく、お願いします。

ぼくは、二〇二〇年三月まで、農村伝道神学校から歩いて一〇分程のところにある町田市立自由民権資料館で学芸員をしていました。名前の通り、明治期の自由民権運動に関する地元の古文書を収集・整理し、展示する資料館ですが、他にも鶴川地区や町田市域の歴史や人物、できごとについて、資料を集め、調べることも仕事でした。ですから、自分の足許から近現代の日本を考えることや、地域社会の人びとの視点から近現代史を描くことが、ぼくの歴史学の方法になりました。民衆史や地域史という歴史学のジャンルです。現在は、和光大学で「地元」や「地域社会」をテーマにした授業も担当しています。地域社会の歴史をテーマとす

る時に、欠かせないのが、フールドワークです。担当する日本近現代史でも、必ずフールドワークをやると思っています。人物やできごとに所縁のある地を訪ね、人びとのお話を耳をかたむけ、現場を踏むことから、歴史を考え始めたいからです。

今、ぼくが足繁く通う地が四つあります。まず、福島県の浜通り地方、二〇一一年の原発事故で被災された方がたからお話をうかがうためです。そして群馬県の草津にあるハセン病の療養所では、病者と社会の歴史を考えています。さらに一八八四（明治一七）年の民衆蜂起、秩父事件を調べに埼玉県秩父地方も訪ねています。最後が、ここ野津田や小野路、あるいは大蔵や能ヶ谷といった、町田市の鶴川地区です。自由民権資料館で手がけていた仕事の延長ですが、くわえて昨年からは小野路で田んぼのお手伝いもすることになりました。

日本近現代史の授業を通じて、またあらたな出会いがあることを楽しみにしています。

橋 耕太

農村伝道神学校に連なるみなさま、はじめまして。今年度、「古代・中世教会史」を担当す

ることになりました、橋耕太です。このたびは、講師としてこの神学校と関われることをとてもうれしく思います。

わたしはふだん、古代のキリスト教史を専門として研究をおこなっていますが、それについて、もうすこしくわしくお話したいと思っています。紀元一世紀の中ごろ、パレスチナで誕生したとされるキリスト教の運動は、やがて地中海世界へとその活動の場を広げていくことになります。その時代のキリスト者、およびその共同体は、その新たな世界で、そこで暮らす人々とともに生活していました。そこには、キリスト教共同体だけでなく、ヘレニズム・ユダヤ人の共同体やギリシア・ローマの諸団体といった、さまざまな共同体が存在していました。わたしの研究テーマは、これらの共同体とキリスト教共同体を比較し、その関わり方を探ることによって、キリスト教共同体が形成され、発展していく様を明らかにすることにあります。すなわち、わたしの関心は、イエスやパウロといった有名な人物というよりも、名もなきキリスト者たちがどのように生きていたかにあります。この関心に基いて、わたし自身も授業

を通して新たな世界に出会えることを期待しています。

わたしのまわりには、現役の講師、ないしかつてこの神学校で講師を務めていた方々が比較的多くおり、そのような方々から長年聞いていた農村伝道神学校に関われることを、とても楽しみにしていました。ところが、いつも通りに勉強をすることはおろか、いつも通りの生活すら送ることのできない状況のなか、いまだその敷地に足を踏み入れることすらできておりません。しかしながら、そのような現状においてもなお、遠く離れた過去の事柄に目を向けることの意味を、とりあえずはオンラインでの授業を通して、参加者の方々とひとつずつ確かめていければと思います



藤井 温美

はじめまして。今年度インドネシア語の授業を担当致します、藤井温美（ふじいあつみ）と申します。東京都出身。二〇一九年神田外語大学インドネシア語専攻を卒業。二〇二〇年日本語教師養成講座を修了。大学在学中にインドネ

二〇二〇年度の農伝シンポジウムではアジア学院の元の校長先生であられた菊地創氏をお招きさせていただき、その生涯についてお聞きする中で、当時の農村伝道神学校での出来事、アジア学院が農村伝道神学校からアジア学院として分かれた経緯についてお伺いする事ができました。アジア学院として分離する中で双方に葛藤が生じ、結果的には和解の道に至ったという事（質疑応答の中でそのような聞こえました）でしたが、大事なものは結果ではなくその途中に生まれる、立場的に弱くされる人々の心をどれだけ

農村伝道シンポジウム報告

齊藤 織恵

汲み取れるのかということではなかったかと感じました。このような事象はいつもの人間社会においても生じ、繰

シアのジャワ島にあるマランクセスワラ経済大学に一年間留学。インドネシア・バリ島の伝統楽器「ガムラン」サークルで楽器演奏・バリ舞踊をやっていました。趣味は読書、観劇、多言語学習、茶葉専門店巡りなど。特技は速読、雑学です。

り、二〇一八年に国交樹立六〇周年を迎えました。インドネシア語は両国の関係をより強く、そしてより深くするために、またその中で皆さんの力を発揮するために必要となつていきます。

—— 2021 年度入学案内 ——

◆受験資格

- (1) 日本基督教団に限らずプロテスタント教会に所属し、原則として受洗後 1 年以上（洗礼式を行わない教派については、それに準ずる）の教会生活をしている者。
- (2) 所属教会が推薦し（可能であれば）、高卒または同等以上の学力を有すると認められる者。

◆修業年限

- 神学基礎コース：2 年間（2 年間で修了することも可）。
- 基礎コース修了後、神学専門コースに進むことができる。
- 神学専門教職者養成コース：2 年間
- 神学専門信徒宣教師養成コース：1 年間または 2 年間

◆学費

- 入学金 60,000 円（入学時のみ）
- 授業料 240,000 円（年額）
- 設備費 30,000 円（入学時のみ）

◆受験手続

次の書類を期日までに郵送または持参する。

- (1) 入学願書（本校指定の書式）
- (2) 履歴書（本校指定の書式）
- (3) 教会（牧師または役員会）の推薦書（可能であれば）
- (4) 最終学校卒業証明書（または卒業見込み証明書）
- (5) 受験料 10,000 円（振り込み）

◆入学願書受付

- 第 1 回 2020 年 10 月 6 日（火）～ 11 月 6 日（金）
- 第 2 回 2021 年 1 月 5 日（火）～ 2 月 5 日（金）

◆入学試験日時

- 第 1 回 2020 年 11 月 17 日（火）午前 9 時～午後 3 時
- 第 2 回 2021 年 2 月 16 日（火）午前 9 時～午後 3 時

◆会場 本校教室

◆入学試験科目 (1) 小論文 (2) 旧約聖書・新約聖書 (3) 面接

◎入学願書一式、過去の試験問題集は、本校事務室まで請求ください（無料）。

農村伝道神学校

〒 195-0063 東京都町田市野津田町 2024

Tel 042-735-5775 Fax 042-735-5711

E メール：noden@pony.ocn.ne.jp

ホームページ：https://noden.ac.jp/

振替番号

農村伝道神学校 00160-6-18485

農村伝道神学校後援会 00120-6-24418

り返し行われうるものではないでしょうか。大事なものはその方のその時のお気持ち、愛情があつた故の複雑な気持ちであり、その事に焦点を置くのならばいわゆる強者である立場が結果について語る事は傲慢であります。

- ◇三月一七日（火）禅キリスト教オリエンテーション（高柳富夫）
- ◇四月 二〇二〇年度入学生三名。
- （四月一日の第七二回入学式および二日の始業講演は、新型コロナウイルス蔓延予防のため中止）
- ◇五月一四日（木）午前九時新入生オリエンテーション
- 午後一時 全体オリエンテーション（新入生歓迎）
- ◇五月一九日（火）一部の授業開始
- ◇五月二〇日（水）一部の授業のオンライン開始
- ◇六月二日（火）残りの前期授業開始

お知らせ

九月二三日（水）～二五日（金）集中講義Ⅰ 解放講座 D
障がい者・島しづ子
九月二九日（火）～三〇日（水）集中講義Ⅱ 牧会心理学
大西秀樹、石田真弓

学事報告

理事会・評議員会報告

新型コロナウイルスの影響により理事評議員会は、昨年十一月の臨時理事評議員会以降、開催されていません。この間に鶴川シオン幼稚園園長であり理事会の書記でもあった本田栄一氏が天に召され、急遽禿理事長が園長に就任しました。神学校の将来計画並びに、次期園長の選考が大きな課題です。（報告 瀬戸）